

先見明言

は。――「稼働人数は昨年から6割も減少した。まだ自動車産業が好調だった08年8月期は売上高が約20億円あったが、今期は30%減は避けられない。最近、少しずつ人材の需要が戻ってきているが、売

都工業社長 安本 弘人氏 (やすもと・たつひろ)



「当社の理念に共感してくれる企業と積極的に取引を行いたい」と話す安本社長

不景気が気付き、去2回のセミナーできの機会を与えてくれ、新を交えた、分かり易いしい領域に踏講義が好評を得ていたみ出す気持ちなので、手応えを感じてを後押ししている」

――今後の目標は、

――新規事業の内容とは、

「最終的に目指しているのは、日本中の職場を笑顔にすること。」

「今年2月、そのためには、共感しに『みやこラボ』という部てくれる企業や人と積

職場改善セミナー好評

トヨタショックによる製造業の不振に伴い、苦境に立たされているのが、人材を供給してきた三河地区の派遣業者。県内中堅クラスの都工業(本社豊田市)も例外ではなく、「派遣切り」が業績を直撃し、売り上げが大幅に落ち込んだという。厳しい状況下で、このほど社長に就任した安本弘人氏は、新しい雇用サービスの構築で現状の打開を図っている。派遣業が大きな転換期を迎えたなか、事業をどう展開していくのか、安本新社長に聞いた。

(豊田)

り上げてみると、年内――厳しい時期をどうは横ばいが続くだろう過ごしてきたか。

「例えば、これが向くようになった。続けていく計画だ。過

で当たり前のように泳門を立ち上げ、職場環境できた海が、いきな境の向上を総合的に支り干上がったしまった援する取り組みに着手ような状況に追い込まれた。その一つが公開された。そこで、市場にセミナーの開催だ。取対し「何ができるのか」引先や下請け業者からというのを改めて考参加を募り、メンタルえてみた。すると、今ヘルスやコーチングにまで見えなかった海底ついて学んでもらう。に落ちているものに目年4回ほどのペースで

登録スタッフ自立へ資格取得促す

極的に手を組んでいきたい。セミナーでも、建築家が、社内の交流を意識的に促進するような職場の「仕掛け作り」を説明する講座を設けた。こうしたオプイスに対する提案も、『みやこラボ』の事業として取り入れた」

――雇用環境は依然、不透明だが。

「人材派遣も、ただ人を集めて企業に送り込むだけでは駄目だ。資格取得を促すなど、登録スタッフの自立を支援するのは使命だと考えている。さらに、自ら雇用を創出しようと、吹き付けによるガラス断熱加工作業『フミンコーティング』を今春から始めた。時代の変化に対応するには、雇用サービスも多様化させる必要がある」